

「子育ては、たのしくよ」 講師 畑中昌則氏（山形県マジッククラブ会長）

◇見せて下さった色々なマジック

- ◆リング 2～3個のリングをつなげたり外したり、大きなリングにしたり…。
- ◆ビール 何もない筒からビールが…。新聞紙にビールを注いだのに、こぼれない。
なくなったはずのビールが、新聞からコップに傾けるとまたいっぱいに。
- ◆ハンカチ 結んだはずが引っ張ると解ける。ステッキに息を吹きかけるとハンカチに変わる。
右手から左手に瞬間移動。
- ◆花 空っぽの袋からケースに入った花がいくつもいくつも…。
- ◆魔法の塗り絵 真っ白のノートが、一瞬で絵が描かれた塗り絵に変身。もう一度めくると、色が塗られた塗り絵に…。更にもう一度めくると真っ白のノートに逆戻り。

その他にも色々見せて下さいました。家庭でも挑戦できるように、種明かしもいくつか教えて下さいました。最後には本物の鳩も登場！皆さん童心に返って驚きや感動の声を上げ、心がわくわくドキドキする時間を過ごすことができました。

◇マジックを通して畠中先生が感じていること

- 笑いは身体にいい → 身体に良いこと
①運動 (“運”を“動”かして良いことを運んでくる)
②拍手
③大声 (ストレス解消)

※マジックを見て「楽しい」「驚き」「笑い」…感じたことを素直に表現すると身体に良い

- 手品は見せ方、喜ばせ方、そのための工夫が大事→子育ても…

子育てにマニュアルはない→ 一人一人得意・不得意みんな違う

その子の良さを見つけて伸ばしてあげよう

- 『すこし見る目をかえると みんなみんないい子』

いい子いい子と言ってあげる→いい子になる ダメダメというとダメになる

小さいうちから「ダメダメ」を言うと人をいじめる

- 学校に行く子へ

子どもは先生が大好き→先生の悪口は子どもの前で絶対言わないこと

先生を尊敬すると子どもは学校が楽しくなる

※人のことを悪く言うのは、上を向いて唾を吐くの一縁→必ず自分に降りかかるてくる



◇演題「子育てはたのしくよ」から

(二) 言葉で物事をすまそうとしない

(そ) その言葉はだれの? 何がしたいの? 言葉に責任を持つ

(だ) だめだ だめだは だめにする

(て) 手伝いは一緒にやろう 手で伝える→羨

(は) 「わかったわかった」はいらない 話をよく聞く (聴 … 14 の心で聞く→福耳)

(た) 他人と比べても伸びない あきらめじやない わりきること

(の) 能力はみんなもっている 頭脳・運動・器用さ・話す力などそれが持っている色々な力を それが生かして世の中バランスを保っている

(し) 知っていることとできることは違う

(く) 口で言うより聞き上手に

(よ) よい人 よい出会い よい笑顔 ——色々なところに行き、人に会い、話を聞こう

よい人のところにはよい人が集まってくる

頭のいい人ほど馬鹿になれる 馬鹿な人は利口ぶつてだけ

とにかく笑おう 笑顔は人を安心させる

✿その他にも心に響くたくさんのメッセージを頂きました

「今が大事」 今日がいいと、明日もいい いつも前向きに、今どうしようと考える

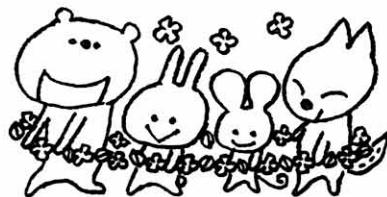
「なんだかんだ言っても さんなねものはさんなね」 自分に暗示をかける

「人の喜びが我が喜びとなる時 人生は真に幸せなものとなる」

「ほほえみはあなたの力 ほほえみはあなたの宝」

「いつの日も下を向いてなげくより 上を向いてほほえもう」

「人が見てなくとも やった事柄の値打ちは変わらない」



帰りには愛のあるメッセージの色紙を参加者全員にプレゼントして下さいました。
子育てに仕事にとお忙しい毎日と思いますが、色紙を見て、楽しかった畠中先生の
マジック&トークを思い出して、「笑い」と「笑顔」を忘れないでいきましょう。